

重要取組シート

取組項目	堺市基本計画 2025 の KPI 達成（スポーツ・運動習慣者割合）
現状・課題	○「堺市基本計画 2025」、「堺市スポーツ推進プラン」において、全ての人が生涯にわたりスポーツ・運動を身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現をめざしている。 ○上記計画とプランの施策目的を達成するための代表的な指標として「スポーツ・運動習慣者割合（1 回 30 分以上の運動を週 2 回以上行う者）」を設定し、平成 29 年度の 23.7% を令和 7 年度に 50%にすることを目標にしており、令和 5 年度では 57.1%である。 ■世代別にみると 20 歳代～50 歳代のビジネスパーソンや子育て世代のスポーツ・運動習慣者割合が低い。 ■男性に比べて女性が低く、特に割合が低い 20～40 代の女性を対象とした取組が求められている。 ■運動することと、しないことの二極化が進んでいる。 ○令和 7 年度は「堺市基本計画 2025」、「堺市スポーツ推進プラン」とともに計画最終年を迎える中、スポーツ・運動習慣者割合は着実に向上しているが、今後更に向上させるためには、スポーツ・運動をする頻度の少ない層に対するアプローチが必要である。 ○R7 は東京世界陸上、R8 には愛知・名古屋アジア競技大会、そして R9 にはワールドマスターズゲームズ 2027 関西（以下、WMG）の開催を控えており、国内でスポーツへの関心が高まる好機が続く。 ○注目度の高い国際大会の開催は、メディア等の扱いも大幅に増加することから、運動・スポーツをする頻度の少ない層への絶好のアプローチ機会となる。
取組の内容	○企業版ふるさと納税を活用し、堺市を拠点とするプロスポーツチームや堺ゆかりの有名アスリートと連携した取組を実施。知名度の高いスポーツチームやアスリートとの連携により、スポーツ・運動をする頻度の少ない層へ訴求する。 ■子ども向けスポーツ教室や学校等における交流イベントの開催 ■市内で開催するホームゲームへの市民招待企画 ■アーバンスポーツ（BMX）体験会 等 ○WMG の開催に向け、WMG サッカー・フットサル競技の運営計画や競技要項等公表、堺市実行委員会公式アンバサダーの阪口夢穂氏との連携など、認知度の向上と参加者獲得に向けた PR 活動を実施する。 ○体育館等のスポーツ施設において、指定管理者のノウハウを活かし、運動習慣のない子どもや、運動等を定期的に行う割合が低い女性や子育て世代をターゲットに、ピラティスや親子で参加可能な教室をはじめ気軽に行えるスポーツの体験教室等を実施しスポーツ・運動習慣の定着を図る。

スケジュール	前期 (～9月)	☐ WMG 台北大会視察 (5月) ☐ 堺プレイザーズ及びセレッソ大阪との連携事業実施 (7月) ☐ 指定管理者によるピラティス・親子参加教室などの各種スポーツ教室 (随時)		
	後期 (～3月)	☐ WMG サッカー・フットサル競技の運営計画や競技要項等公表 (11月) ☐ 区民まつり等での WMG の PR (11月) ☐ プロ BMX チーム「GANTRIGGER」との連携事業実施 (11月) ☐ プロ野球球団「オリックス・バファローズ」との連携事業実施 (12月) ☐ 事業効果のとりまとめ (3月)		
	次年度以降	☐ 令和 7 年度 of 取組を踏まえ、スポーツ・運動習慣者割合の向上に資する取組を継続的に実施 ☐ 新たに設定する次期基本計画 KPI 達成に向けた事業を実施		
進捗の状況	前期 (～9月)			
	後期 (～3月)			
2025 堺市基本計画	該当する 施策	2- (7) 生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現		
	寄与する KPI	スポーツ運動・習慣者割合 (1回30分以上の運動を週2回以上行うもの) [現状値: 23.7% (2017年度)]		目標値 (2025年度) 50%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 3	市民が心身ともに健康で生きがいを持って暮らしている	
	寄与する KPI	健康寿命		目標値 (2025年度) 男性 73.2 歳 女性 76.2 歳